

備えて
いますか？

愛犬・愛猫の

災害対策

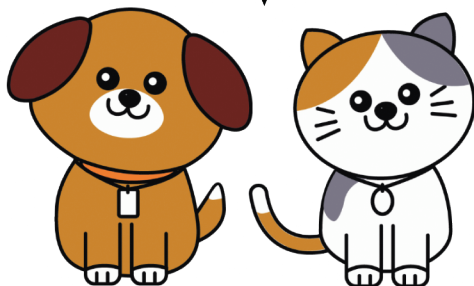
飼い主とペットが共に災害を乗り越えるためには
日頃からの備えが大切です

01 | ペットの個体識別（名札など）について

突然の災害に驚いて逃げ出してしまう、ペットが迷子になることがあります。
飼い主が誰であるか分かるようにしましょう。

迷子札

協会キャラクター：犬のつむぐくん、猫のきずなちゃん



鑑札



犬の鑑札・注射済票だけでなく、連絡先を記入した迷子札も装着しましょう。完全室内飼育でも万が一の迷子や災害に備えて連絡先を記入した迷子札を装着しましょう。

注射済票



マイクロチップ



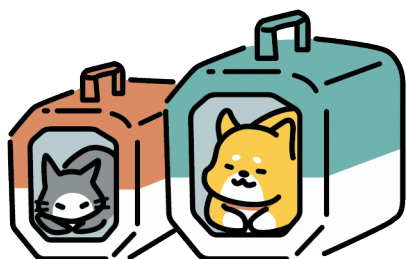
ペットの体（通常は首の下あたり）に埋め込むため、首輪が外れたりした場合でも個体識別が可能です。
※マイクロチップを装着している場合、指定機関への登録が、法律で義務付けられています。

避難所で飼育は、普段の生活以上に周囲への配慮が必要であり、決められたルールに基づき、飼い主の責任において飼育しなければなりません。避難所で他の避難者に迷惑をかけない、またペット自体のストレスを少なくするためにも、平常時からの健康管理としつけは大変重要です。

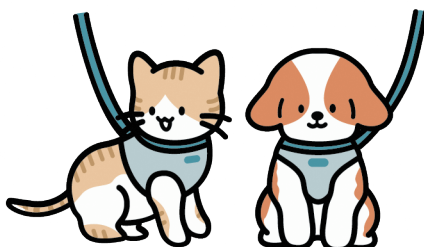
避難所で飼育するためのポイント

しつけ

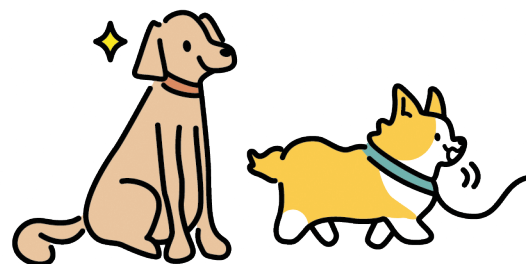
- ✓ ケージの中で落ち着いていられる



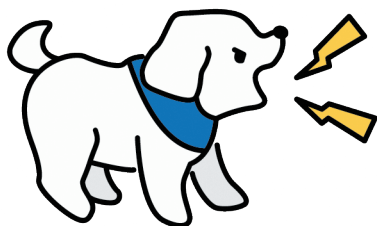
- ✓ つながれること



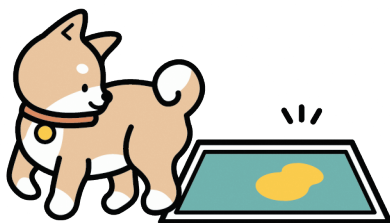
- ✓ オイデやマテなどを教えておく



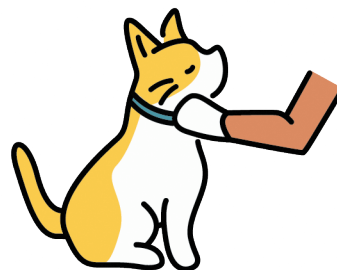
- ✓ ムダ吠えさせない



- ✓ 決められた場所での排泄

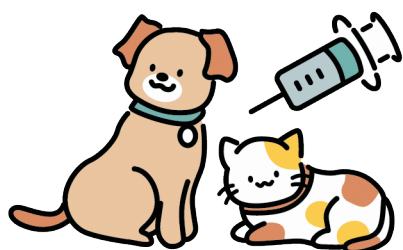


- ✓ 家族以外の人にも慣れさせておく



健康管理

- ✓ 狂犬病予防ワクチン・混合ワクチンの接種



- ✓ 避妊・去勢



- ✓ ノミやダニ、犬フィラリアなどの寄生虫駆除



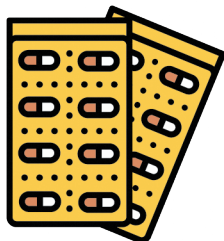
災害に備えて、ペットのためにも必要な物資を備蓄しておきましょう。避難所では、人に対するの準備が中心となり、同行避難してきたペットに対しての準備等は、基本的に飼い主の責任になります。

準備しておきたいもの

命や健康・最低限の管理に関わるもの



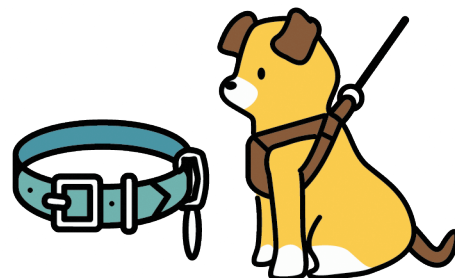
常備薬・療法食



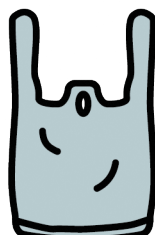
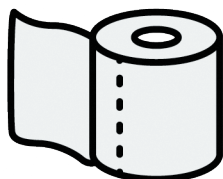
フード・飲料水
(最低5日分)



予備のリード・首輪や胴輪



排泄物等を処理するためのもの



POINT

備蓄品には優先順位をつけ、優先度が高いものをすぐに持ち出せるようにしておきましょう。

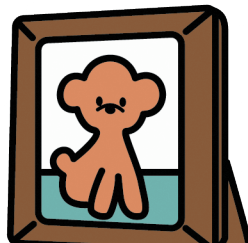
飼い主やペットの情報



ペットの記録



ペットの写真



ペットの写真の保存



ペットの記録帳などに飼い主の連絡先やペットの持病・病歴・かかりつけ動物病院などを必ず記入し、万が一、離れ離れになった時のためにペットと一緒に撮った写真を準備しておきましょう。

災害が起きた時は人の安全を確保した上で、動物の安全を確保しましょう。また、ペットが留守番中に災害が起きることも想定し、ペットの安否確認や安全な場所への移動などができる体制づくりも必要です。

愛犬・愛猫の安全対策



犬や猫は上から落ちてくるものへの対応が苦手です。犬や猫がよくいる場所の安全を確保しましょう。

愛犬・愛猫が留守番中に起きたら



近所の動物好きの方などに安否確認をしてもらえるように、連絡先の交換をしておきましょう。

ペットの防災対策と同行避難 DVD を令和5年度に作成しました!各市町に配布していますので、自治会等で視聴される場合は、市町担当部局にご相談ください。また、職員を派遣するペット防災対策講習会も行いますので、市町担当部局または当協会にご相談ください。

YouTubeで動画を掲載していますのでご覧ください。

「ペットの防災対策と同行避難」 約8分



一般財団法人滋賀県動物保護管理協会

〒520-3252 滋賀県湖南市岩根 136-98

TEL: 0748-75-6522 e-mail: sapca@beach.ocn.ne.jp